



達人の旅指南⑤

フリーライター 加藤 隆悦

みちのく

ココロとカラダの癒し旅

岩手県雫石町は、秋田の人間にとってなじみのある土地柄だ。

たとえば、小岩井農場には子供連れやカップルで訪れたことのある人も多いだろうし、町にある二つのスキー場も、秋田のスキーファンには人気が高い。ペンションの軒数が多いのも特徴だ。雫石のペンションには秋田からの宿泊客が案外多いのだそう。また、つなぎ温泉や鶯宿温泉を社員旅行などで利用したことのある人も多いだろう。

近場でありながら行楽気分が満喫できるところが、雫石の魅力だ。

岩手県雫石町鶯宿温泉
ホテル森の風鶯宿

御所湖 遠くに岩手山を望む

逢滝 鶯宿温泉のビューポイント



ホテル正面の「風の又三郎」のオブジェ



溢れるくつろぎと華やぎ

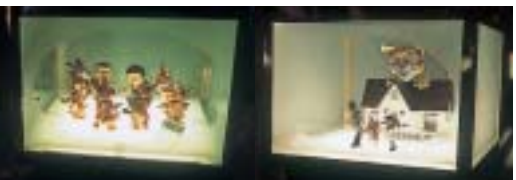
この雫石町の鶯宿温泉に「ホテル森の風鶯宿」が誕生したのが平成七年十一月。同じ年の七月に、ホテルに隣接する場所に、波の出るプールやウォータースライダーのある屋内ウォーターアミューズメント施設「けんじワールド」が完成しており、ホテルと合わせて、遊びながら泊まる、泊まりながら遊ぶといった、ポリユーム感のある温泉リゾートスポットが生まれたのだ。

「ホテル森の風鶯宿」は、まずその威容に驚かされる。客室総数223室、千名収容の大型温泉リゾートホテルだが、外観だけでも圧倒的な存在感。玄関を入ると三階部分まで吹き抜けるロビー。まるでどこかの宮殿に迷い込んだような気分させられる。

雫石町、そして鶯宿温泉は、秋田からは泊まりがけでなければ行けない距離ではないが、このホテルは泊まるこ



階段の支柱の行灯は小さなギャラリーになっていて、宮沢賢治の童話をモチーフにした立体イラストが楽しめる



森の大木としずくを思わせるロビー



毎日ラウンジの浮舞台で琴が演奏されている





お祭り広場で毎晩催される無料のショー



ショーの間にみんなでもちつき大会

「さんさ亭」は本格的な炉端焼きの店構え

お祭り広場にはゲームコーナーや夜店が並ぶ

とを楽しみにして出かけていきたい宿だ。飲食や娯楽の施設・サービスがふんだんで、一日館内だけで過ごしても飽きることはない。

このホテルには主にアジア方面の海外からのツアー客も多い。そのため、館内の施設の案内には中国語やハンゲル文字の表示もある。

「お祭り広場」内には、照明を落とした空間に無数のちようちんが下がり、その下には、中央の舞台を囲むように夜店やゲームコーナー、飲食の店が並んでいる。まるで縁日の夜のムードだ。

「お祭り広場」内の飲食の店としてはすし処、麺処、和食処がある。特に、和食処「さんさ亭」は、南部地方の伝統的な農家建築である「曲がり家」を再現した本格的な店構えで、町の中の繁華街にあつてもおかしくないような炉端焼きの店だ。この「さんさ亭」や「レストラン銀河高原」の料理が選べるプランなど、季節により多種多様な宿泊プランが用意されているらしい。

六月になると、このホテルは、農作業が一段落した近郷近在の農家の人たちの骨休め、いわゆる「さなぶり」でにぎわうのだそうだ。確かに、そんなニーズにこたえてくれそうな至れり尽せりのもてなしぶりが、このホテルには感じられる。



和室タイプの客室



女将からのメッセージ



洋室タイプの客室



豆乳でいただくしゃぶしゃぶ



朝食はバイキングスタイル

春の献立





館内の施設案内も国際色豊か



洋風大浴場



和風大浴場からつながる空中露天風呂

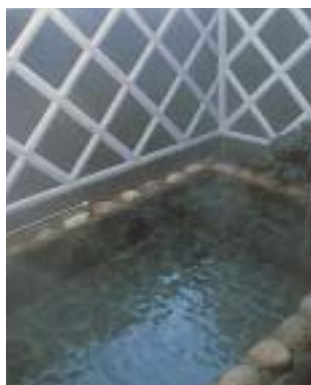
多彩に楽しめる温泉浴

温泉は無色透明のアルカリ性単純泉。男女別に広い大浴場があり、それぞれ露天風呂がつく。この空中露天風呂は、ホテルの2階で建物から迫り出すような形でつくられており、視界を遮るものもなく、遠く岩手山や姫神山、奥羽山脈を望む眺望のよさは特筆に値する。大浴場は深夜に男女を入れ替えるので一泊すれば二つの大浴場とも利用できる。

もつと温泉浴を楽しみたい人にもいいニュースがある。従来からあった「けんじワールド」の温泉部分が、この春、銀河温泉「森のしずく」という名前で大幅にスケールアップしてリニューアルされたのだ。こちらはいわゆる立ち寄り温泉だが、ホテル宿泊者は割引料金で利用でき、ホテルから連絡通路つたいに直接行き来できる。

和風と洋風の大浴場があり、毎日男女が入れ替わる。室内風呂、露天風呂合わせて二十一種類もあり、ジェットバス、泡風呂、打たせ湯、サウナなどが楽しめる。その他に、貸切露天風呂が五種類。こちらは介護を必要とする人を同伴する場合や家族水入らずで温泉を楽しみたい人には重宝だるう。

水入らずといえば、ホテル本館離れには貴賓室一室と特別室が三室用意されていてそれぞれ専用露天風呂がついている。宿泊料金もそれなりにするが、たとえば結婚記念日など、メモリアルな日に大切な人と過ごしたい空間として覚えておきたい。



「森のしずく」貸切露天風呂



「森のしずく」和風露天風呂



「森のしずく」和風大浴場



「森のしずく」洋風露天風呂



特別室の専用露天風呂



けんじワールド売店



けんじワールド



「ビューラ ルーモ」は本年3月に完成したばかりの円形ドーム型チャペル。旅の行き先を「森の風」にするもよし、「森の風」から人生の旅をスタートするもよし…



「けんじワールド」内のレストラン銀河高原では、期間限定でテーマを持たせたランチバイキングを行っている。この記事が出る頃は、ワールドカップ開催にちなんで韓国料理をテーマにしたバイキングを楽しめる

世代を超えて遊べるエリア

多彩な屋内プールのあるウォータースライダー施設「けんじワールド」は、ホテルと連絡通路でつながっている。ホテル内だけで滞在するのも十分に楽しいのだが、せっかくなこまで来ていれば、本格的なテーマパークである「けんじワールド」も楽しまない手はない。「けんじワールド」は、波の出るプールを中心に、一周三百メートルもの流れるプール、落差十メートル、全長百メートルのウォータースライダー、水着のままで利用できる温泉浴場などがある。ホテル、「森のしずく」、そして「けんじワールド」と、三つの施設がまとまっているので、世代の違う人たちが一緒に旅をしてもそれぞれが存分に旅を満喫することができる。たとえば子供たちは「けんじワールド」でプール遊びに興じ、その間、おじいちゃんおばあちゃん「森のしずく」で温泉を楽しみ無料休憩室でくつろいでいられる。三世代家族などにお誂え向きの行楽ス

ポットと言えるだろう。

ホテルの宿泊料金には「けんじワールド」の入場料とバックになった設定もあるの、よく確かめて上手に利用したい。サービス内容や料金などについて詳しく知りたい時は、ホテルのホームページを見るとういだろう。常時多彩な企画を行っており、リーズナブルな宿泊プランも提案されているので、賢い旅行プランづくりには、ホームページからの最新情報の入手は欠かせない。

秋田県内から鶯宿温泉までは、車でも比較的容易に行けるが、公共交通機関を利用したい場合は、秋田新幹線で盛岡まで向かえばいい。盛岡駅西口バスターミナルから毎正時にホテルまでの無料シャトルバスが運行されている。ホテルまではこのバスで約四十五分の道のり。

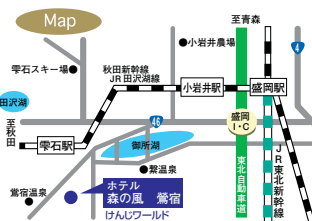
(文・写真) かつらひづる(秋田市)

MORINOKAZE

施設のご案内

- 客室 / 223室、離れ露天風呂付4室
- 収容人員 / 1,000名
- 大浴場 / 和風大浴場、洋風大浴場、露天風呂、サウナ
- パブリック / 大宴会場、中宴会場、小宴会場、茶室、ナイトクラブ、ナイトラウンジ、お祭り広場、パーティールーム、和食処、すし処、麵処、挙式場、けんじワールド(室内大プール)、レストラン銀河高原
- 無料シャトルバス運行中

お一人様 1泊2食付
14,300円より(税別)



〒020-0574
岩手県岩手郡雫石町鶯宿10-64-1
TEL.019-695-3333 Fax.019-695-3330
ホームページアドレス
<http://www.morinokaze.com>